平成27年 9月29日発行

有害プランクトン情報 （平成27年度 － No. 6）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトンの調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては，魚類や二枚貝などに影響を与えることがありますので，毎月1回「有害プランクトン情報」を発行して出現状況をお知らせします。

【 プランクトンの出現状況 】

○ 調査日　9月 第1回　：　内湾（8地点）　9/10　内房（7地点）　9/8

　　9月 第2回　：　内湾（8地点）　9/24　内房（7地点）　9/28

○ シャットネラ属及びシュードシャットネラ属の有害プランクトンは，すべての調査点で確認されませんでした。

○ ヘテロシグマ属の有害プランクトンは，すべての調査点で確認されませんでした。

○ 赤潮は，9月24日に内湾中央から北部の西側を中心に確認されました。
優占種はケイ藻のスケレトネマとタラシオシラでした。

○ また，カレニア ミキモトイ(写真1)が，内湾北部海域で確認されました（県環境研究センターからの情報）。
本種は養殖魚介類に影響を及ぼすことがあるので，今後の動向に注意が必要です。

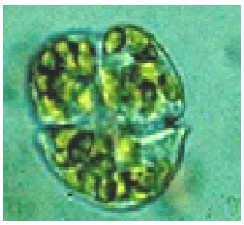


写真 1
長さ 0.02～0.04mm

※ シャットネラ属プランクトンは1細胞/1ml，ヘテロシグマ属プランクトンは1000細胞/1mlの密度を超えた場合に注意報を発行します。

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

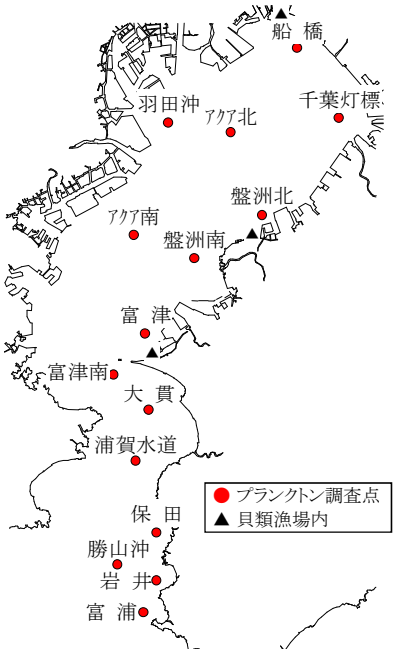
9/10	内湾	ケイ藻	*Skeletonema* sp.	（図1）
			（スケレトネマの一種　直径:0.01mm）	
9/8	内房	ケイ藻	*Rhizosolenia setigera*	（図2）
			（リゾソレニア セチゲラ　直径:0.01～0.09mm）	
9/24	内湾	ケイ藻	*Skeletonema* sp.	（図1）
			（スケレトネマの一種　直径:0.01mm）	
9/28	内房	ケイ藻	*Cheatoceros pseudocurvisetum*	（図3）
			（キートケロスの一種　長径:0.01～0.05mm）	

図 1

図 2

図 3

調査地点



【 貝毒プランクトンの状況 】

○ 調査日　沖 合　：　内湾（8地点） 9/10

　　貝類漁場内：

○ 麻痺性貝毒が発生する原因となるプランクトンは，すべての調査点で確認されませんでした。

○ 下痢性貝毒が発生する原因となるプランクトンは，すべての調査点で確認されませんでした。

連絡先：千葉県水産総合研究センター　東京湾漁業研究所
〒 293-0042　富津市小久保3091　TEL 0439-65-3071　E-mail　futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp